



石台だより

〒177-0045 練馬区石神井台 8-6-33 TEL3928-7124
<http://www.shakujiidai-e.nerima-ky.ed.jp/>



令和4年9月30日

第550号

練馬区立石神井台小学校

校長 町田 浩一



10. 1 「都民の日」の思い出

副校長 田代 末実子

あの猛暑が嘘のように暑さもおさまり、涼しい風が心地よく、学校内は、彼岸花をはじめとして秋の花々が鮮やかな季節となりました。学習や運動にも全力で取り組むのに、良い季節です。

保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、明日10月1日は、「都民の日」です。「都民の日」は、1898年10月1日に市制特例が廃止され、この10月1日を記念して、1952年に「都民の日条例」を施行されました。同条例では、記念日を設けることで都民の一体感や自治意識を高め、また福祉を増進するといった目的だったそうです。また、「都民の日」は、都立及び都内各市区町村立の小・中・高校は休校となると定められ、東京都の管理する博物館・美術館・庭園等は同日に限り入場無料。またその他民間施設においても、「都民の日」への協賛として、無料開放や割引など行っていました。

ところが、2002年に学校週5日制の実施以降、授業時間確保のために自治体によっては、休校しない学校も増えていったそうです。

現在、練馬区の小学校は「都民の日」が休校になっているので、「都民の日」はお休みで、うれしい！」と子どもたちの中でも認知されています。(残念ながら今年は、土曜日で振替休業にはなりません。)

しかし、他区市では「都民の日」が休校ではないところもあり、「都民の日」ということが子供たちの意識の中にあることあるのです。これを読んでいらっしゃる皆様は、「都民の日」の思い出はありますか？(東京都出身ではない方もいらっしゃいますか…)

私は、東京都杉並区生まれ、小金井市育ちです。幼小の頃は、「都民の日」は学校がお休みで、学校で「カップのバッジ」を購入し、そのバッジをつけて遊園地や動物園に行くと無料だったのでとても楽しみだったことを覚えています。

ずいぶん昔のことなので、現在、カップのバッジはどうなっているのでしょうか？

～カップのバッジ？～「カップのバッジ」は、1956年大東京祭以降「都民の日」を記念したバッジ「大東京祭記念徽章」を毎年発売していました。1959年からは漫画家の清水崑さんによるカップをモチーフにしたデザインとなりました。カップが採用された理由としては、隅田川にカップの巣が多くあったとする伝承によるものだそうです。その後、1976年から漫画家の小島功さんに引き継がれ、カップのモチーフもそのまま受け継がれました。そして、バッジは、10月1日に都営施設の無料入場を認める目印として用いられていました。現在は、無料公開される施設が減少するなど、バッジの目的が薄れたため、1997年の都民の日を最後にバッジの販売は無くなりました。近年では、2018年に江戸から東京への改称と東京府設置150年記念事業の一環として「カップバッジ」が復刻されたそうです。なるほど、と思った方は…おじいちゃんおばあちゃん世代の方だけでしょうか？こんな文化があったことも10月1日を迎えるに当たって伝えていきたいと思いました。ちなみに、カップバッジはありませんが、都立の施設や公園は入場無料のところが多いようです。ぜひこの機会に調べて、足を運んでみてはいかがでしょうか？



さて、10月。「秋の日は釣瓶(つるべ)落とし」秋は日の暮れるのがどんどん早くなってきます。帰宅を促す夕方のチャイムも16時30分に変更になります。安全第一で、素敵な秋を満喫し、色々なことにチャレンジしてほしいと願っています。

10月の生活目標

心とからだをきたえよう

9月12日～14日に、千葉県・岩井に2泊3日の移動教室に行ってきました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で行くことができなかったため、初めての宿泊行事でした。友だちと一緒に寝ることが初めて、家族以外で泊まるのが初めてという児童も多く、ワクワクドキドキしている様子が見られました。

幸運にも3日間とも好天に恵まれました。1日目は鋸山（のこぎりやま）に登り、地獄覗きという名所から絶景を眺めました。宿についた後は海岸に行ったり、夜はキャンプファイヤーをしたりして楽しみました。2日目は鴨川シーワールドへ行き、グループ毎に行動をしました。名物のシャチのショーは圧巻で多くの子供たちが感動していました。夜は星空観察もできて、東京では見られない星がたくさん見られ、移動教室ならではの体験ができました。3日目はお土産を買ったり、自然の竹や植物を使った工作をしたりして楽しみました。

3日間でたくさんの成長が見られました。初めての宿泊学習で、お家の人に頼らずに自分だけで1日の生活を送ること、友だちと部屋をともにして一緒に過ごすこと、身の回りの整理整頓をすること、集団で時間も守って動くこと、全てが初めてのことだったと思います。1日目はトラブルがあったり、時間に間に合わなかったりしましたが、2日目、3日目とどんどんと行動が早くなり、慣れていきました。それと同時に、子供たちの顔も少し大人びた様子で、自信が付いてきました。たった3日間でも大きな成長が見られ、有意義な時間となりました。

この3日間で得た経験や、作られた絆をもとにこれからの半年間の学校生活を過ごしていきます。詳しい様子や写真は学校HPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

**鋸山の絶景****ベルデ岩井での朝会****お土産タイム****●学年の窓 3年生****3年担任**

2学期が始まり、1か月が経ちました。子供たちはいろいろな学習に興味をもって前向きに取り組んでいます。

9月14日（水）の5時間目には石神井特別支援学校の先生に来ていただき、障害についての話を聞きました。障害とはどんなものなのか、配慮が必要なことを周囲に知らせるヘルプマークについてなど詳しい話を聞くことができました。また、話をせずに身振り手振りだけで自分の意思を伝えて、グループを作る活動も行いました。4人1組のグループを作るときには、指で数を出したり、手招きしたりして上手にグループになることができました。しかし、同じ誕生月のグループや16人のグループになるという条件では、人数がそろわないなどなかなかグループになることができませんでした。条件が複雑になったり人数が多くなったりすると、声を使えないと自分の伝えたいことが伝わりにくいことを体験しました。

2学期には遠足、学習発表会、ドリームフェスティバルなど、いろいろな行事が予定されています。このような経験を活かし、ますます成長して行ってほしいです。

